

資料

用語の解説（番号順）

（※1は本文中の番号を表す）

※1 温室効果ガス

太陽エネルギーによって暖められた地表面から輻射される赤外線の一部を吸収し、再び放射することで、地表面の温度及び気温を保つ効果を持つ気体のことをいいます。京都議定書では、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFCs）、パーフルオロカーボン（PFCs）、六ふっ化硫黄（SF₆）の6種類を対象としています。

※2 IPCC

Intergovernmental Panel on Climate Changeの略。（気候変動に関する政府間パネル）人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方針に関し、科学的、技術的、社会経済的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）により設立された組織です。科学者らが三つの部会に分かれて地球温暖化の将来予想や影響を分析しています。

※3 地球温暖化対策の推進に関する法律

地球温暖化対策の推進に関する法律（1998年10月9日法律第117号）は、地球温暖化対策に関し、国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、地球温暖化対策に関する基本方針を定めること等により、地球温暖化対策の推進を図り、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとともに人類の福祉に貢献することを目的とする法律です。

※4 気候変動枠組条約

気候変動枠組条約（正式名称：気候変動に関する国際連合枠組条約、英語：United Nations Framework Convention on Climate Change、略称：UNFCCC、FCCC）は、地球温暖化問題に対する国際的な枠組みを設定した条約です。

大気中の温室効果ガスの増加が地球を温暖化し、自然の生態系などに悪影響を及ぼすおそれがあることを、人類共通の関心事であると確認し、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させ、現在および将来の気候を保護することを目的としています。気候変動がもたらすさまざまな悪影響を防止するための取り組みやその措置などを定めています。

※5 気候変動枠組条約締約国会議（COP）

気候変動枠組条約の締約国による会議で、1995年ドイツのベルリンで第1回締約国会議（COP1）が開催されて以来、毎年開催されています。1997年京都で開催されたCOP3では各国の温室効果ガスの削減目標を規定した京都議定書が決議されました。

（COP：Conference of The Parties to the United Nations Framework Convention on Climate change）

※6 京都議定書

1997年に京都で開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP3）において採択された議定書のことをいいます。締約国における2008年～2012年にかけての温室効果ガス排出量の削減目標（先進国全体で1990年比5.2%（日本は6%））が定められたほか、吸収源の取扱い、排出量取引などの基本的考え方が決められています。我が国は平成14年6月4日に締結、ロシアの締結により発効要件が満たされ、平成17年2月16日に発効しました。

※7 京都議定書目標達成計画

2005年4月に閣議決定された京都議定書の温室効果ガスの6%削減約束と長期的かつ持続的な排出削減を目的とする計画です。温室効果ガスごとの対策・施策、横断的施策（国民運動の展開、公的機関の率先的取組、排出量の算定・報告・公表制度、ポリシーミックスの活用）、基盤的施策（排出量・吸収量の算定体制の整備、技術開発、調査研究の推進、国際的連携の確保、国際協力の推進体制等）と三つの施策が決められています。

※8 太陽光発電

太陽の光を電気に変える装置（太陽電池）を利用して発電した電力を、エネルギー源として使用できるようにしたものです。石油を燃焼させて電気を起こす火力発電と異なり、発電時にCO₂などの温室効果ガスを排出することがなく、また、太陽光さえ得られればどこでも発電できるというメリットがあります。

※9 日進市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図りつつ、一般廃棄物の適正な処理を行うため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、策定することとされています。なお、計画策定にあたっては、対象となる一般廃棄物について、減量化や再生利用に係る具体的な推進方策や目標値を明記することとされ、本市では平成8年度から、15年間の計画を策定しています。

※10 日進市環境基本計画

日進市環境まちづくり基本条例に定められている、本市の環境まちづくり施策を総合的で計画的に推進するための計画です。計画では本市の環境まちづくりにおける、目指すべき環境像、それを実現するための施策の大綱、計画の推進に必要な事項を定めています。現在の日進市環境基本計画は計画期間を20年間とし、平成16年3月に策定しています。

※11 省エネ機器

電気製品等の機器において、省エネ性能の高いものを指します。1998年のエネルギーの使用の合理化に関する法律の改正を受け、2000年8月からエアコン、テレビ等といった電気製品に省エネ基準達成率や通年エネルギー消費効率を表示する「省エネラベリング」制度が実施されました（2010年7月時点で18品目）。また、2006年10月からはテレビ、エアコン、冷蔵庫の3機器について小売事業者は省エネ性能を情報提供することが定められ、対象機器には「統一省エネラベル」が貼付されています（2010年4月時点では電気便座、蛍光灯器具（家庭用）が加わり5品目）。

※12 新エネルギー

新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法では、太陽光発電、風力発電、太陽熱利用、温度差エネルギー、バイオマス発電、バイオマス熱利用、バイオマス燃料製造、雪氷熱利用、地熱発電（バイナリ方式のもの）、未利用水力を利用する水力発電（1,000kW以下のものに限る、いわゆる小水力発電）が新エネルギーとされています。また、法律では新エネルギーを経済面における制約から普及が十分でなく、促進を図ることが石油代替エネルギーの導入にとくに必要なものと定め、国が積極的に導入促進を図るべき政策的支援の対象としています。

※13 市民アンケート

市民アンケートについては、地球温暖化問題に対する意識や取り組み状況、日進市に対する要望などを把握し、市民の実態、意見や意向等を踏まえた計画の検討を行うための基礎資料とすることを目的として、下記の方法により実施しました。

- (1) 調査地域 日進市全域
- (2) 調査対象 日進市に在住の20歳以上の男女（無作為）
- (3) 調査方法 配布：郵送による配布（2,500通）
回収：返信用封筒を使用した郵送による回収
- (4) 調査時期 発送：平成21年9月18日 締め切り：平成21年9月30日
- (5) 回収状況 回収数（1,130通 回収率45.4%）

※14 事業者アンケート

事業者アンケートについては、地球温暖化問題に対する意識や取り組み状況、日進市に対する要望などを把握し、事業者の実態、意見や意向等を踏まえた計画の検討を行うための基礎資料とすることを目的として、下記の方法により実施しました。

- (1) 調査地域 日進市全域
- (2) 調査対象 日進市内の事業所
- (3) 調査方法 配布：郵送による配布（250通）
回収：返信用封筒を使用した郵送による回収
- (4) 調査時期 発送：平成21年10月22日 締め切り：平成21年11月9日
- (5) 回収状況 回収数（108通 回収率43.2%）

※15 外挿

ある既知の数値データを基にして、そのデータの範囲の外側で予想される数値を求めることです。またその手法を外挿法（補外法）といいます。

当該数値データを、何らかの関数にあてはめ、数値データの無い範囲（外側）の値を推定します。最も簡単なものは、一次関数（直線）による外挿（直線外挿）です。

※16 コージェネレーション

一種類の一次エネルギー（例えば燃料）から連続的に二種類以上の二次エネルギー（例えば電力または動力と温度レベルの異なる熱）を同時に発生させる設備です。燃料を燃焼させることにより原動機を駆動して発電機を回転させ、発電を行うと同時に原動機の排ガスや冷却水の熱を蒸気または温水として取り出し、冷暖房や給湯、プロセス加熱等に使用するものなどを指します。発電と同時に発生した排熱を利用するなど、総合的な熱効率の向上を図ったエネルギー供給システムです。

※17 ヒートポンプ

電気などのエネルギーにより、温度の低い部分から温度の高い部分に熱を移動させる装置で、冷媒の圧縮・膨張による潜熱（気化熱）の移動を応用して冷暖房などを行う装置です。熱移動による冷却効果は古くから冷蔵庫、冷凍庫、冷房などに使われてきましたが、近年、熱回収による加熱効果が暖房・給湯などに応用されています。

※18 クリーンエネルギー自動車

電気で走る電気自動車やガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッド自動車、天然ガスやメタノールを燃料として走る自動車などを指します。従来のガソリンや軽油を燃料とした自動車に比べ、排気ガスやCO₂の削減に効果があると期待されています。

※19 地球温暖化対策推進法による温室効果ガス特定排出者

地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、平成18年4月1日から、温室効果ガスを相当程度多く排出する者（特定排出者）に、自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付け、国が報告された情報を集計・公表する「温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度」が導入されました。

※20 森林吸収

京都議定書では、日本は1990年比で6%の削減義務を負い、この削減目標のうち3.8%を森林吸収で担うことが認められ、1990年（平成2年）以降の新規の植林、再植林及び森林減少などの限定的な活動により増減した吸収量を算定の対象とすることが定められています。

※21 京都メカニズム

京都議定書では、温室効果ガス削減数値目標の達成を容易にするために、直接的な国内の排出削減以外に他国との共同実施による（Joint Implementation: JI）、途上国への技術支援によるクリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism: CDM）、排出権取引（Emission Trading: ET）、という3つのメカニズムを導入しています。

※22 排出権取引（Emission : ET）

各国家や企業ごとに温室効果ガスの排出枠（キャップ）を定め、排出枠が余った国や企業と、排出枠を超えて排出してしまった国や企業との間で取引（トレード）する制度です。京都議定書に定められた各国の排出削減目標を達成するため、京都議定書の第17条に規定されており、温室効果ガスの削減を補完する京都メカニズム（柔軟性措置）の1つです。

※23 エコドライブ

省エネルギー、二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減のための運転をさし、アイドリングストップや経済速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキを控えること、適正なタイヤ空気圧の点検など環境にやさしい運転に心掛けるものです。

※24 P&R=パークアンドライド

自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや電車等の公共交通機関を利用して都心部の目的地に向かうシステムです。都市部や観光地などの交通渋滞の緩和のため、末端交通機関である自動車・原付・軽車両を郊外の公共交通機関乗降所（鉄道駅やバス停など）に設けた駐車場に停車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に行く方法です。

※25 エコモビリティライフ

エコモビリティライフ（エコモビ）とは、環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげた言葉で、自動車と電車・バスなどの公共交通、自転車、徒歩などを、行き先や目的に応じて、使い分けるライフスタイルのことです。

愛知県では、毎月第1水曜日を「あいちエコモビリティライフの日」とし、地球環境にやさしく、安全で健康的なエコモビリティライフの推進に取り組んでいます。

※26 4R

リデュース（Reduce）：発生抑制、リユース（Reuse）：再使用、リサイクル（recycle）：再生利用、リフューズ（refuse）：ごみになる物を断る、の4つの頭文字をとったものです。

※27 グリーン購入

購入の必要性を十分に考慮し品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷のできる限り小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することをいいます。

※28 EXPOエコマネー

EXPOエコマネー事業は、市民・企業・行政それぞれの環境に配慮行動を促すとともに社会の自発的な環境配慮行動を促進する新しい社会システムの実験事業として、レジ袋辞退、環境学習やボランティア活動などの環境に配慮した行動に対してポイントを発行し、そのポイントはバイオマスプラスチック製品やリサイクル製品などの環境に優しい商品や環境保全行動に還元できる制度です。

※29 アイドリングストップ

自動車の停車時にエンジンを切ることです。不必要な燃料の消費を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することがねらいです。

※30 緑のカーテン

緑のカーテンとは、アサガオやヘチマ、ゴーヤなどのつる性の植物をひもやネットを使って窓の外に這わせることで作る自然のカーテンのことをいいます。窓辺にかける「よしず」と同じように日差しを和らげるだけでなく、植物の水分蒸散作用によって、葉の表面温度が下がり、夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があります。

※31 アダプトプログラム

アダプトプログラムとは、市民や事業者に道路や河川など公共の場所の「里親」となりボランティアで環境美化活動（清掃、除草、ごみ拾いなど）を推進する制度で、環境美化に対する市民意識の高揚を図り、もって市民等と市が協働して環境美化によるまちづくりを推進する制度です。

日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

発行 平成23年3月
日進市市民生活部環境課
〒470-0192
愛知県日進市蟹甲町池下268番地
TEL 0561-73-7111(代)
FAX 0561-72-4603
E-Mail kankyo@city.nisshin.lg.jp